

復刻版 地の塩 全7巻・別冊1

体裁—B4判(第1・2巻)・A5判(第3〜7巻)
 /上製本/総約2,800頁
 前定價—本体140,000円+税
 発行—東京基督教女子青年会(東京YWCA)
 別冊—解説・総目次・索引
 別冊のみ分売可||本体1,800円+税
 ISBN 978-4-8350-7651-5
 解説—樽松かほる(桜美林大学教授)
 推薦—川戸れい子(公益財団法人東京YWCA代表理事)
 原本提供—公益財団法人東京YWCA

◎配本概要

別冊	第2回本							第1回本	
	第7巻	第6巻	第5巻	第4巻	第3巻	第2巻	第1巻	第2巻	第1巻
解説・総目次・索引	104〜113号	94〜103号	85〜93号	76〜84号	66〜75号	38〜65号	1〜37号	38〜65号	1〜37号
	'38年3月〜'39年3月	'37年3月〜'38年2月	'36年4月〜'37年2月	'35年5月〜'36年3月	'34年4月〜'35年4月	'31年2月〜'34年3月	'26年7月〜'30年12月	'31年2月〜'34年3月	'26年7月〜'30年12月
			本体90,000円+税 ISBN978-4-8350-7644-7			2014年5月刊行	本体50,000円+税 ISBN978-4-8350-7644-6	2014年5月刊行	本体50,000円+税 ISBN978-4-8350-7644-6

*「地の塩」は第113号で終刊、日本YWCA機関誌「女子青年界」に統合されます。

関連図書

女子青年界

全33巻・別冊1

本誌は当初「明治の女子」の誌名で創刊され、翌年日本基督教女子青年会(日本YWCA)の発足にもない、その機関誌として敗戦の前年まで発行された。本誌は女子学生や働く女性のための寄宿舎事業、託児所の設置、婦人問題に関する調査・研究、女工・女中の生活教育など、女性の社会教育を一貫して行ったYWCAの活動を克明に記録したものであり、キリスト教史・女性史・教育史研究に有用な資料となるものである。後継紙「女性新聞」もあわせて復刻。

日本基督教女子青年会(日本YWCA) 発行(一九〇四年〜一九五〇年)
 別冊II解説(武田清子)・総目次・索引

別冊のみ分売可(本体価格22,000円+税)

A5判・B4判・上製・総21,866頁

推薦II一番ヶ瀬康子・笠原芳光・関屋綾子・水田珠枝・山口光朝

前定價II748,000円+税

- 第1回配本(第1〜4巻) 本体価格 88,000円+税
- 第2回配本(第5〜8巻) 本体価格 88,000円+税
- 第3回配本(第9〜12巻) 本体価格 88,000円+税
- 第4回配本(第13〜16巻) 本体価格 88,000円+税
- 第5回配本(第17〜20巻) 本体価格 88,000円+税
- 第6回配本(第21〜24巻) 本体価格 88,000円+税
- 第7回配本(第25〜28巻) 本体価格 88,000円+税
- 第8回配本(第29〜33巻+別冊) 本体価格132,000円+税

連合婦人

全9巻・付録1・別冊1

一九二三年の関東大震災を機縁に大同団結した東京市内外の婦人団体三〇有余(第一号発行時)は、東京連合婦人会に集合した。その連絡機関誌の本誌は、婦選獲得同盟、日本基督教婦人矯風会など、政治的主張の明確な団体の連絡提携の機能を果たした。委員長吉岡彌生、副委員長の守屋東をはじめ、教育者や女性活動家の多彩な論評・時評が掲載され、当時の婦人問題を浮き彫りにしている。昭和戦前期の外交・経済・思想の非常時局面を伝える誌面は、ジェンダー研究の宝庫である。

東京連合婦人会 発行(一九二八年〜一九四二年)

別冊II解説(後藤明日香)・総目次・索引
 付録II昭和十四年婦人年鑑 東京連合婦人会 発行

「沿革史」大日本連合婦人会 発行

A4判・B5判・上製・総3,842頁

推薦II加納実紀代・酒井シヅ・吉岡博光

前定價II200,000円+税

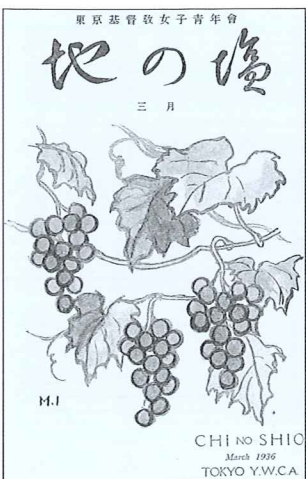
表示価格はすべて税別

不二出版
 〒113-0023
 東京都文京区向丘1-2-12
 電話03-3812-4433
 ファクシムル03-3812-4464
 振替001602940884

2014/4

地の塩

復刻版 全7巻 別冊1



東京YWCA機関紙

一九二六年七月〜一九三九年三月

解説 樽松かほる・影山礼子
 推薦 川戸れい子

前定價140,000円+税

全2回配本(2014年5月・12月)

不二出版

東京YWCA所蔵の他に存在を確認できていない本紙は、キリスト教史・女性史・教育史・国際交流史・平和運動史研究に必須の資料である。



『地の塩』は一九二六年七月、東京基督教女子青年会(東京YWCA)の機関紙として一九三九年三月の第一一三号まで発行され、その後、日本基督教女子青年会(日本YWCA)機関誌『女子青年界』に統合された。創刊号から第六五号までは新聞形態、第六六号からは雑誌形態で発行された。

日本にYWCAが創立したのは一九〇五年、東京YWCAはその年の一月であり、各都市のYWCAの中で最も歴史が古い。初代会長は津田梅子で、その後は新渡戸まり子、志立タキ等、恵まれた指導力をもつ女性たちが任についた。『地の塩』創刊時は、会長志立タキ、総幹事加藤タカ、外国人総幹事エマ・R・カフマンであった。東京YWCAの活動は寄宿舎、保養所、生涯学習講座、国際交流、キャンプ、駿河台女学院(商業・語学・家政・実学・音楽・体育)等多岐に渡り、『地の塩』はキリスト教関係の記事はもとより実践的な活動の報告記事が豊富で当時の様子を生き生きと伝えている。また戦時色が色濃くなりつつある情勢下でも、世界のYWCAとの交流を軸に軍備縮小、世界平和を訴えてきた。

現在『地の塩』は東京YWCA所蔵の他に存在を確認できていない極めて貴重な資料である。この度、公益財団法人東京YWCAのご協力のもと本復刻版刊行の運びとなった。キリスト教史はじめ、女性史、教育史、国際交流史、平和運動史研究の欠落を埋める重要な資料として本書を供するものである。

不二出版

東京YWCAは、この大きな教育事業を

どのやうにして行つてゐるでせうか

Table with 2 columns: Department Name (e.g., 総務部, 教育部, 青年部) and Staff List (e.g., 志立タキ, 内池ヨネ, 森智恵子).

▽各部に分れてゐます
一、會員事業
家庭婦人部(既婚婦人、未婚婦人)
少婦部(學生、女學生、小學生)
これは自治的なグループ教育の方法を採つてゐます。

Table with 2 columns: Activity Name (e.g., 夜間(女性文化講座), 文藝部, 木工部) and Description/Staff.

▲第109号(1938年9月)

『地の塩』復刻版刊行にあたって

この度、公益財団法人東京YWCA(旧東京基督教女子青年会、以下東京YWCAと略記)の以前の会紙『地の塩』が復刻公刊の運びとなりました。私どもの先輩たちの業績を多くの方々知って頂き、その志を継ぐ私どもの活動にも広くご理解を賜りたく思い、ここに『地の塩』についての紹介を少しく述べさせて戴きます。

東京YWCAは日本基督教女子青年会(現公益財団法人日本YWCA、以下日本YWCAと略記)と共に一九〇五年に発会。初めは日本を代表し、世界と日本を繋ぐ国際的な役割を担うものですが、地域名を冠した会は、地域で必要とされる役割を果す会です。当初、地域の会は東京だけでしたが、その後、他地域にも会が生まれ、東京での活動に対応する会報をとということで一九二六年七月、『地の塩』発刊に至りました。

『地の塩』の名は新約聖書マタイによる福音書第五章一三節「あなたがたは地の塩である」によります。地域社会で塩のように味をつけ、腐敗を防ぐ役目を果たすという会の使命を表すものでした。冷害の東北から上京する女性への援助、下町の子どものためのセツルメント活動等、一九三九年三月まで東京YWCAならではの活動を記録してきました。是非、復刻版をご高覧頂き、地の塩たらんとする志を受け継ぐ私どもの活動にご協力を願う次第です。

最後となりましたが、今回復刻版刊行を引き受けて頂きました不二出版株式会社様に心より感謝申し上げます。

二〇一四年三月

公益財団法人 東京YWCA代表理事 川戸れい子

Table titled '會員調査' showing membership statistics by age group (e.g., 17以下, 18-25, etc.) and gender.

Table titled '會員調査' showing membership statistics by region (e.g., 有職婦人, 家庭婦人, 学生少女) and gender.

▲第103号(1938年2月)

地 の 鹽 第四拾五號 (4)

新神楽プログラム
十月八日(日) 午後七時
新神楽の神楽
十月九日(月) 午後二時
新神楽の神楽

世界平和のページ
厳密な意味で新神楽の神楽
新神楽の神楽
新神楽の神楽

軍備縮小、世界平和など
軍備縮小、世界平和など
軍備縮小、世界平和など

米國學生團歡迎
「アメリカの男女學生が五十人も揃って
來朝するのださうだ。」

野尻キャンプは呼ぶ
「Come all you Y girls!
Come out to Lake Nojiri」

野尻湖畔キャンプ
野尻湖畔キャンプ
野尻湖畔キャンプ

野尻だより
野尻だより
野尻だより



日本初の女性専用屋内プール (駿河台会館、1929年落成)



第89号 (1936年9月)

野尻キャンプは呼ぶ
「Come all you Y girls!
Come out to Lake Nojiri」
野尻湖畔キャンプ
野尻だより

地 の 鹽 第四拾五號 (4)

新神楽プログラム
十月八日(日) 午後七時
新神楽の神楽
十月九日(月) 午後二時
新神楽の神楽

世界平和のページ
厳密な意味で新神楽の神楽
新神楽の神楽
新神楽の神楽

軍備縮小、世界平和など
軍備縮小、世界平和など
軍備縮小、世界平和など

米國學生團歡迎
「アメリカの男女學生が五十人も揃って
來朝するのださうだ。」

野尻キャンプは呼ぶ
「Come all you Y girls!
Come out to Lake Nojiri」

野尻湖畔キャンプ
野尻湖畔キャンプ
野尻湖畔キャンプ

野尻だより
野尻だより
野尻だより